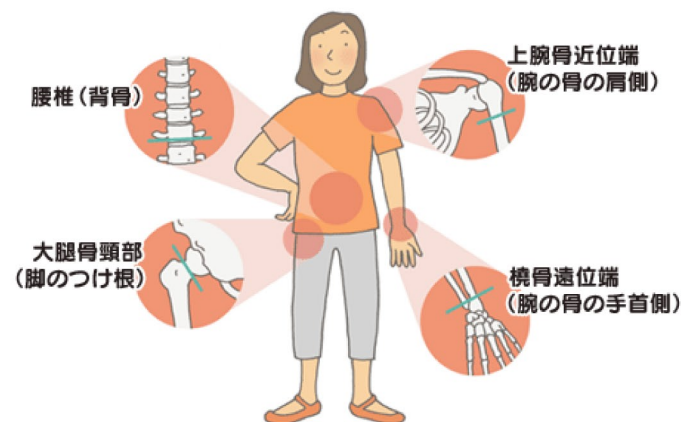


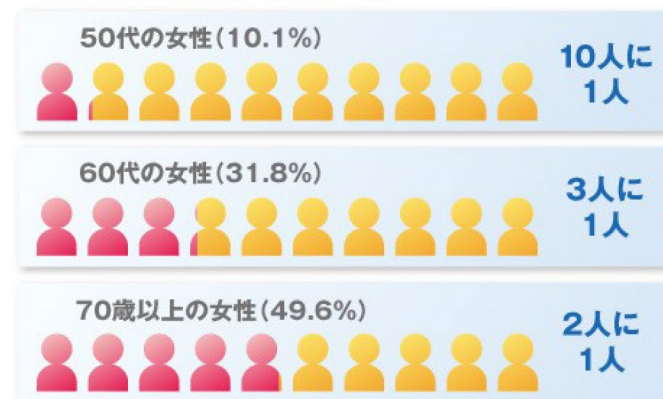
骨粗しょう症検診

対象と年齢 40歳～70歳の女性（5歳毎）、一次検診
内容 問診及び骨量測定 *骨折リスクの算出 (FRAX)

骨折を起こしやすい部位



年齢と閉経に伴う骨量の変化(概念図)



60歳代になると約3人に1人が骨粗しょう症にかかっています

精密検査(二次・健保)では、レントゲン検査など追加検査があります。
皆さんが気づかない「いつの間にか骨折」も見つけ出します。

*FRAX (fracture risk assessment tool)

世界保健機関が開発し、2008年に発表した骨折リスク評価法